

## MOTIF-RACK XS Editor VST & Yamaha Steinberg FW Driverセットアップガイド

### □MOTIF-RACK XS Editor VST とは？

「MOTIF-RACK XS Editor VST」はVST3テクノロジーに対応した Cubase シリーズ 4.5.2 以降で利用可能なエディターソフトウェアです。VST インストールメントと同様に VST インストールメントトラックから MOTIF-RACK XS Editor VST を起動することができ、コンピューター上からボイス、マルチエディットを行うことも可能です。

なお、このセットアップガイドでは、Yamaha Steinberg FW Driver にて MOTIF-RACK XS とコンピューターを IEEE1394 接続し、MOTIF-RACK XS と Cubase 間での MIDI/オーディオデータの送受信を FireWire ケーブル 1 本で行う場合の設定をご案内いたします。

※別売 mLAN エクスパンションボード「mLAN16E2」を取り付けた場合に IEEE1394 接続が可能になります。取り付け方については、MOTIF-RACK XS 取扱説明書「mLAN16E2(別売)の取り付け」(108 ページ)をご覧ください。

### 1.ソフトウェアをインストールする

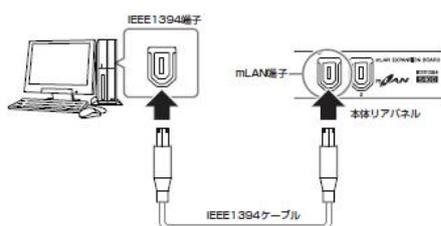
Yamaha Steinberg FW Driver をインストールします。下記 URL からお使いのコンピューターOS に合ったバージョンの Yamaha Steinberg FW Driver をダウンロードし、コンピューターへインストールしてください。

[http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers\\_software/tone\\_generators\\_samplers/motif\\_rack\\_xs/driver/](http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers_software/tone_generators_samplers/motif_rack_xs/driver/)

※詳しいインストール方法は、ダウンロードしたドライバー同梱のインストールガイド (InstallationGuide\_Ja.pdf) をご参照下さい。

※Yamaha Steinberg FW Driver は、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記 URL をご確認ください。

※手順の中の、PA 機器/電子楽器の mLAN 端子を IEEE1394 ケーブルで接続する箇所については、下図を参考にしてください。



### 2.IEEE1394 ファームウェアを最新版にアップデートする

IEEE1394 本体ファームウェアを最新版にアップデートします。下記 URL から IEEE1394 アップデータをダウンロードし、アップデート作業を行ってください。

[http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers\\_software/tone\\_generators\\_samplers/motif\\_rack\\_xs/updater/](http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers_software/tone_generators_samplers/motif_rack_xs/updater/)

※アップデート作業の具体的な手順は、ダウンロードしたアップデート同梱のドキュメント (update\_guide\_win/mac\_ja.pdf) をご参照下さい。

※mLAN16E2をYamaha Steinberg FW Driver でお使いいただくためには、IEEE1394 ファームウェア「V1.07」以降が必要です。

### 3.MOTIF-RACK XS 本体設定を変更する

下記手順にて、MOTIF-RACK XS 本体設定を変更します。

#### ■IEEE1394 ドライバー設定

- 1.[UTILITY]ボタンを押し、ユーティリティモードに入ります。
- 2.ユーティリティセレクト画面で「General」を選択し、[ENTER]ボタンまたはエンコーダノブを押します。
- 3.カーソル[↑]/[V]ボタンにて「IEEE1394Driver」項目を選択し、「FW」に設定します。
- 4.[STORE]ボタンを押し、設定を本体メモリー上に保存します。

※「Executing...Please keep power on.」と表示されている間は、内部動作中です。電源を切らないようご注意ください。

#### 5.MOTIF-RACK XS の電源を入れ直します。

※本体を再起動する事で、「IEEE1394 Driver」が「FW」に切り替わります。必ず再起動を行ってください。

#### ■MIDI 入出力設定

- 1.[UTILITY]ボタンを押し、ユーティリティモードに入ります。
- 2.ユーティリティセレクト画面で「MIDI」を選択し、[ENTER]ボタンまたはエンコーダノブを押します。
- 3.カーソル[↑]/[V]ボタンにて「MIDI In/Out」項目を選択し、「mLAN」に設定します。
- 4.[STORE]ボタンを押し、設定を本体メモリー上に保存します。

※「Executing...Please keep power on.」と表示されている間は、内部動作中です。電源を切らないようご注意ください。

#### ■mLAN モニター設定

- 1.[UTILITY]ボタンを押し、ユーティリティモードに入ります。
- 2.ユーティリティセレクト画面で「General」を選択し、[ENTER]ボタンまたはエンコーダノブを押します。
- 3.カーソル[↑]/[V]ボタンにて「mLAN monitor」項目を選択し、「with PC」に設定します。

※MOTIF-RACK XS のハードウェアダイレクトモニタリングを行う場合には「with PC (Mntr)」、DAW のソフトウェアモニタリングを行う場合には「with PC」に設定します。通常は、「with PC」に設定してください。

- 4.[STORE]ボタンを押し、設定を本体メモリー上に保存します。

※「Executing...Please keep power on.」と表示されている間は、内部動作中です。電源を切らないようご注意ください。

#### 4.ソフトウェアをインストールする

MOTIF-RACK XS Editor VST 及び MOTIF-RACK XS Extension をインストールします。下記 URL から MOTIF-RACK XS Editor VST 及び MOTIF-RACK XS Extension をダウンロードし、コンピューターへインストールしてください。

##### ■MOTIF-RACK XS Editor VST

[http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers\\_software/tones\\_generators\\_samplers/motif\\_rack\\_xs/editor/](http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers_software/tones_generators_samplers/motif_rack_xs/editor/)

##### ■MOTIF-RACK XS Extension

[http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers\\_software/tones\\_generators\\_samplers/motif\\_rack\\_xs/extensions/](http://www.yamahasyth.com/jp/downloads/drivers_software/tones_generators_samplers/motif_rack_xs/extensions/)

※詳しいインストール方法は、ダウンロードしたドライバー同梱のインストールガイド (InstallationGuide\_ja.pdf) をご参照下さい。

※MOTIF-RACK XS Editor VST 及び MOTIF-RACK XS Extension は、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記 URL をご確認ください。

#### 5.IEEE1394 接続確認について

MOTIF-RACK XS をコンピューターに IEEE1394 接続後、「Yamaha Steinberg FW Driver コントロールパネル」を起動します。コントロールパネル内に「MOTIF-RACK XS」タブが表示されているかご確認ください。

※Macintosh : Macintosh HD > アプリケーション > Yamaha > FWDriver > Yamaha Steinberg FW Control Panel.app からコントロールパネルを起動します。  
※Windows : スタートメニュー > コントロールパネル > Yamaha Steinberg FW Driver からコントロールパネルを起動します。

#### 6.MOTIF-RACK XS Editor VST の利用方法について

■Yamaha MOTIF-RACK XS Extension をインストールすることで、Cubase 用プロジェクトテンプレート「Yamaha MOTIF-RACK XS with VST editor」を利用することが可能です。



「Yamaha MOTIF-RACK XS with VST editor」は、テンプレートの読みこみ時、MOTIF-RACK XS Editor VST が追加された状態で MIDIトラックが 16 個作成されています。MOTIF-RACK XS Editor VST のデータ同期を行った後に、データを作成してください。



※エディター上部の「OFFLINE」をクリックし、続いて「Auto Sync」ウインドウ下部の「Start」ボタンをクリックすることで、MOTIF-RACK XS 本体側マルチ設定と MOTIF-RACK XS Editor VST 上の設定が連動する状態「ONLINE」になります。

##### ■MOTIF-RACK XS Editor VST のデータ同期が上手くいかない場合

下記手順にて、MOTIF-RACK XS とコンピューターを IEEE1394 接続した場合の MOTIF-RACK XS Editor VST 上の設定をご確認ください。

1. 「ファイル」メニューから「エディタ設定」をクリックします。
2. 「Setup」ウインドウ内の各項目を確認し、「OK」ボタンをクリックします。  
Data Port = 「mLAN/1394」  
mLAN Device = 「MOTIF-RACK XS」  
MIDI Out = 「MOTIF-RACK XS Main」
3. 「ファイル」メニューから「VSTi 設定」をクリックします。
4. 「VSTi Setup」ウインドウ内の「Auto」ボタンをクリックし、オーディオポートを自動割り当てします。
5. 「OK」ボタンをクリックします。